

令和6年度 第3回港区区政会議 全体会 議事録

1 日 時 令和7年3月13日（木） 午後7時～

2 場 所 港区役所5階会議室

3 出席者（委 員） 対面：井本委員、ヴィダル委員、牛島委員、北山委員

後藤委員、下村委員、高崎委員、武内委員

豊谷委員、鳥取委員、中西委員、西川委員

西村委員、平尾委員、丸岡委員、村田（烈）委員

森岡委員、山岸委員、山田委員、山野委員

（関係者） 対面：港区青少年指導員連絡協議会 荒川氏

港区青少年指導員連絡協議会 岡田氏

（市会議員） 対面：藤田議員

（港区役所） 対面：山口区長、磯村副区長、吉野総務課長

五十嵐総合政策担当課長、西堂協働まちづくり推進課長

細江エリア開発推進担当課長、村上教育担当課長

松元保健福祉課長、山崎保健・子育て支援担当課長

吉川生活支援担当課長、杉本窓口サービス課長

前田総合政策担当課長代理

4 議 題 （1） 「青少年指導員活動の活性化に向けて」

○前田総合政策担当課長代理 皆さまこんばんは。定刻となりましたので、ただいまより「令和6年度第3回 区政会議の全体会議」を開催させていただきます。各部会に続きまして、全体会議にお集まりいただきありがとうございます。

私は、総務課総合政策担当課長代理の前田です。どうぞよろしくお願ひいたします。本日の配布資料につきましては、クリアファイルの中に入れていただいております。それぞれの説明の際に、番号等も確認させていただきます。それでは会議に先立ちまして、区長の山口よりご挨拶を申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。平日の夜のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。前回第2回の区政会議全体会で、このような意見公開しやすい形を試みました。その時にかなり意見も活発に出て、このやり方で今回もさせていただけたらと思っています。それぞれの部会でのご議論もありがとうございました。

まず「安心安全・まちづくり部会」では「区内3つのエリアで取り組むエリア別活性化プランの更新案」を中心にご議論いただき、弁天町駅周辺で進む事業などをご紹介いたしました。

「こども青少年部会」では、不登校児童・生徒の保護者向けの支援や学校選択について、また「福祉部会」では、介護予防等に関して、活発なご議論をいただきました。本当にありがとうございます。

さて、毎回お話ししているんですけども、もう万博、1ヵ月前となりました。

私も前売りのチケットを買って、初日に行こうと目論んではいらるんですが、なかなかパビリオンに当選しなくてですね。JRの弁天町駅のオープニングの時に、コンビニが新しくなったんですけど、そこに万博のミャクミャクグッズコーナーとかあって、この本も置いてあったんで買ってみました。この本、大変売れているようで、やっぱり皆さんだんだん見えてきて、期待が増しているのではないかなと思います。中にいろんなパビリオンとかイベントが載っていてワクワクしますし、またですね、万博のテストランというものを2月末まで募集していたんですが、4万人の一般公募枠に対して申請件数が12万件、申込者数は35万人ということで、ネットでは結構「落ちた落ちた」という声も聞いたんですけども、それぐらいやっぱり行こうと関心を持っている方たくさんいるんだな。というふうに思っております。そして港区はとにかく地下鉄1本で行ける場所にありますので、ぜひとも早いうちに行ってください、何度も足を運んでいただけたらと思っています。一方で大変な混雑も予想されておりまして、交通機関、特に

港区の皆さんに影響があるということは予測されています。オンデマンドバスも走っております。この万博の期間中の交通手段の1つとしてぜひ活用もしていただきたいですし、また企業の皆さんに万博 TDMといたしまして、ちょっと時間帯を変えていただくとか、交通混雑の緩和にご協力をいただく企業さんが登録をいただいています。港区からもたくさん登録していただいているのですが、周りにも「まだ登録してないよ」という企業様いらっしゃいましたら、ぜひお勧めください。住民のみなさんには、大阪市の公式LINEからも交通混雑などをお伝えしていきます。

さて、もういよいよ1ヵ月。そして2025年、港区制100周年の年です。ただ、今日皆さんにお話ししていただきたいのは、今の課題というよりはもう、何年も前から課題になっており、今後もきっと課題になる、いわゆる担い手不足の中で、特に青少年指導員の皆さんの、今日もオブザーバーでも来ていただいていますけれども、どうやったら持続可能になっていくか。ということ、他の地域活動のことも併せながら、ご議論いただけたらと思っております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

○前田総合政策担当課長代理 それでは、現在の出席状況をご報告させていただきます。区政会議につきましては、委員定数の2分の1以上の出席により、成立すると規定されており、現在ご出席されている委員のほか、委員定数25名のところ19名の方にご出席いただいておりますので、有効に成立していることをご報告いたします。

また、本日の会議は公開とします。会議の様子を動画撮影し、港区役所のYouTubeアカウントにて後日、一定期間掲載させていただくほか、議事録も公開するため、録音をいたします。全体での進行のご発言の際は、必ずマイクご使用していただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

会議中、少しでも体調が優れないようなことがございましたら、遠慮なくおっしゃってください。

次に条例第8条において「市議員は区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができる」と規定されており、本日は、藤田議員にご出席いただいておりますことをご報告いたします。なお、西議員につきましては、本日は公務のためご欠席でございます。では、ここからの進行はヴィダル議長にお願いいたします。

○ヴィダル議長 皆さんこんばんは。議長のヴィダルと申します。ここからの進

行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず始めに、本日の進め方について、区役所より説明をお願いいたします。

○五十嵐総合政策担当課長 皆さんこんばんは。総合政策担当課長の五十嵐です。本日の流れなどを説明させていただきます。前回、新たな試みとして、1つのテーマに沿って、各部会ごとに話し合いをしていただきました。その後のアンケート結果から、今回も引き続き実施することといたしました。

本日のテーマは「青少年指導員活動の活性化に向けて」です。区の取り組みを説明した後、各部会ごとに、どういった課題があるとか、どうすれば活性化していくことができるかなど、それぞれの考えやお立場で情報交換をお願いいたします。20分程度のお時間しかございませんが、最後に部会から出されたご意見などを各議長から発表していただきます。そして、全体の共有とさせていただきたいと考えております。今回も議長と一緒に話を進めるコーディネーター役として、課長級3名程度が入らせていただきます。今回も各部会でのご議論内容の報告は、既に送付させていただいておりますので、割愛をさせていただきます。

ただ「令和7年度予算（案）」につきまして、各部会でご説明した通りなのでございますが、どの部会にも属していないものについて、少し説明をさせていただきます。当日配付資料の⑥「区長事由経費 令和7年度予算事業（案）一覧」をご覧ください。こちらの2ページ目、36番です。

約360万円ほど増加している「区の広報事業」については区長の話にもございましたように、区制100周年を迎えるということと、万博の情報発信をこれからしていかないといけない。ということで、広報誌の充実・特集面の大幅な増と、それから年度内に100周年の記念誌の発行を考えておりまして、その経費となります。

次に39番「万博出展による港区のPR事業」についてでございます。こちらは9月に予定しております「大阪ウィーク・秋」に、音楽とダンスをミックスした「コスプレ・ダンスパフォーマンス」というものを出展させていただきます。

また、区制100周年を迎える区が9区役所ございまして、そちらの合同での出展も行いますので、港区をその場でPRしていく予定でございます。それらの経費として400万円を計上させていただいております。逆に万博の機運醸成の取り組みとして、今年度に既に合計で1,000万円ほど計上しておりました、41番と42番。こちらにつきましては、令和6年度中に事業を完了いたしましたので、来年度は計上をしておりません。

お送りしている資料につきまして、他の部会の議論で聞いておきたいことや、事前意見など、区役所の対応・考え方などに対する追加のご意見、部会での言い足りなかったことなどがございましたら、この後お時間を設けさせていただきます。さきほどの予算のことにつきましても結構です。なにかございましたら、お願いいたします。以上です。

○ヴィダル議長 ただいまの説明でご質問などございますでしょうか。特に無いようですので、さきほどの説明でありました、他部会の議論で聞いておきたいことや、事前意見での区役所の対応・考え方等に対する追加のご質問、部会で言い足りなかったことなど、どなたかございますでしょうか。無いようであれば、当日配付資料⑦「事前意見内容と区役所の対応・考え方」の3番「全体会」の部分の説明を区役所からお願いいたします。

○吉野総務課長 総務課長の吉野でございます。当日配付資料⑦の1番下、3というところをご覧くださいませ。ご意見の内容としまして「予算のことが細かくあげられていますが、光熱費高騰、物価高騰により、財政もかなり逼迫していると思います。次年度以降もこの予算配分で実施可能なのでしょうか」というご意見ちょうだいいたしました。それに対しまして、区役所の考え方でございます。

「本格的な少子高齢化、人口減少社会が到来し、生産年齢人口の減少による、経済成長の制約や、社会全体の活力低下が懸念されるなか、近年ではご指摘のとおり、物価高騰など必要な経費も増大してきているところであります。本市として、引き続き収入の範囲内で予算を組むことを原則として、将来世代に負担を先送りすることが無いよう、財政健全化の取り組みを進めるとともに、限られた財源の元で、一層の選択と集中を、全市的に進めることとしています。港区におきましても、限られた財源ではありますが、行政サービスの低下を招くことなく、予算の見直しを行い、重要な分野や事業に必要な予算の確保に向けた取り組みを進めてまいります。」実際に予算編成にあたりましては、ご指摘の通り、高騰している光熱費や物件費についてですね、いろいろ苦慮しております。前年度の実績を詳細に精査して、無駄のないように苦心しながら作業しているところでございます。引き続き、きめ細やかな姿勢を保ちながら、予算管理を適正に進めてまいります。どうもありがとうございました。以上です。

○ヴィダル議長 ただいまの説明でご質問などございますでしょうか。特にありませんので、では次に当日配付資料⑧「令和6年度第2回全体会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方」について区役所からご説明お願いいたします。

○西堂協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課の西堂です。前回の全体会では、区民の防災意識の向上策についてということで、多数のご意見いただきまして、誠にありがとうございました。資料⑧にですね、当日の回答と区役所の対応・考え方を書かせていただいております。あとちょっと補足的にですね、口頭になりますが、説明をさせていただきます。おおむね11の項目につきましてご意見をいただいていたかと思えます。こども青少年部会ないし裏面の全体会を通しての記載の中では「防災の日を設けてはどうか」といったご意見。また福祉部会のほうでは「起震車を呼ぶ、阿倍野防災センターに行くなど、防災学習会の内容をもう少し充実させてほしい。」また安心安全・まちづくり部会全体を通したところでは「学習会を2部制にしてはどうか。」それから安心安全・まちづくり部会のほうでは「自分の地域外でも参加可能にしてはどうか」といったご意見をいただいております。地域の防災学習会ですとか、訓練につきましては、地域主体で実施されておりますので、地域の協力、あとご理解がなければ、こういった項目については進められないことから、明日ですね、地域の防災担当者の情報交換会を開催いたします。そこでもこういったご意見を共有させていただきながら、実現可能なものについては、取り組みを進めていきたいというふうに考えております。それから福祉部会のほうから「1人暮らしの高齢者や外国人など、地域の情報から離れている方が取り残されないよう対応してほしい」といったご意見につきましては、町会加入促進の働きかけですとか、地域の見守り活動の中での、共助の取り組みを進めていながら、対応したいと考えております。また外国人の防災対策につきましては、今現在「おもてなし防災」の取り組みを進めてまいりますので、そういった取り組みの中で、取り組めたらというふうに考えております。安心安全・まちづくり部会のほうから「防災訓練・学習会の駅構内での周知をすれば効果的だと思う」というご意見につきましては、メトロ駅構内の区役所掲示板がございます。ほかの掲出物もありますので、そういったほかの掲出物とも調整をしながらですね、HPのQRコードを掲出していきたいというふうに考えております。また同じく安心安全・まちづくり部会のほうから「大阪メトロと協力をして、津波避難ビルの表示や周知をするのが効果的ではないか」といったご意見につきましては、車内案内等はかなりちょっとハードルが高いところがございます。これにつきましても、メトロ駅構内の区役所掲示板に、ほかの掲出物も調整しながら、防災マップを掲出していきたいというふうに考えております。また安心安全・まちづくり部会のほうから「人が集まるタイミングで、避難

活動や津波のイメージ映像を流すと効果的だと思う」といったご意見につきましては、地域の防災学習会で、映像を活用したりしたカリキュラムについて、地域の防災アドバイザーとも相談して対応したいというふうに考えております。また同じく安心安全・まちづくり部会のほうから「障がいのある方には障害者手帳の更新のタイミングなどで、防災に関する各種案内をすると効果的だと思う」といったご意見につきましては、当区の保健福祉課と連携をして、実施をしております。同じく安心安全・まちづくり部会のほうから「平日に福祉施設に通う方向けに避難訓練を行い、それに地域の方が参加するなど小規模な避難訓練をすこしずつ行っていくのが良いと思う」といったご意見につきましては、福祉施設と地域が連携できるように、区役所からも実現可能に向けて、双方に働きかけていきたいというふうに考えております。裏面ご覧ください。最後になります。全体会を通して「モバイルバッテリーが重要なので、まちなかに、非常時に使える公共電源があったら良いと思う」といったご意見につきましては、今現在、大阪市の経済戦略局のほうで、外国人を含む、来阪観光者の増加に伴いまして、ニーズに対応した観光案内板というのを、市内に整備をされております。この観光案内板には、情報発信機能に加えまして、災害時に利用可能な充電機能も備えられた、そういった機能がございます。港区内には弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅周辺で今現在、整備が進められております。これの運用につきましては、来年度中に、運用が開始されるというふうに聞いております。

また、スマートフォンの普及に伴いまして、外出先で充電するニーズも増えたことで、一般的な製品にもなっておりますので、ご自身でも日頃から出来る備えにいわゆる自助の取り組みとして、携行していただきたいというふうに考えております。説明につきましては以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。ただいまの説明でご質問などございますでしょうか。特に無いようですので、それでは各部会ごとで話し合いしていただくテーマ「青少年指導員活動の活性化に向けて」区役所から説明をお願いいたします。

○村上教育担当課長 教育担当課長の村上です。では、私のほうから青少年指導員活動の活性化についてご説明させていただく前に、本日オブザーバーとして参加いただいている方をご紹介させていただきます。本日のテーマが青少年指導員活動の活性化でございますので、港区青少年指導員連絡協議会から荒川会長。

○荒川オブザーバー 荒川です。こんばんは、よろしく願いいたします。

○村上教育担当課長 岡田副会長。

○岡田オブザーバー 副会長やらせてもらっています、岡田です。よろしくお願いします。

○村上教育担当課長 このお二人にオブザーバーとしてご参加いただいております、よろしくお願いします。この後、オブザーバーのお二人には部会ごとに分かれた3つのテーブルを回っていただきながら、青少年指導員の実情や、思いなどコメントいただいたり、また意見交換に加わっていただければと思っております。

それでは、まずは青少年指導員活動の活性化について意見交換させていただく背景からご説明させていただきます。

大阪市では青少年指導員の活性化に向けて、青少年指導員さんと区長との、意見交換を各区ごとに行っており、港区でも、本年度は先月の7日に実施したところでございます。これまでの意見交換の中で、お聞きしたご意見を紹介させていただきます。本日の資料、右肩に⑨となっております「青少年指導員活動の活性化に向けて」こちらのほうの資料の、9ページをご覧ください。

この9ページの右下にいただいている声を簡単にまとめてございます。「やりがいの声」といたしましては「子ども達に関わる活動が楽しい」「子ども達の笑顔がやりがい」「地域のみんなで活動することが楽しい」「ワイワイすることが好き」とこういったお声もお聞きする一方、課題点として「人数減少で、校区単位での活動ができなくなっている」「地域活動への協力も、人数が少ないと難しい」と、こういった声もお聞きしておるところでございます。

こうしたお声をうかがう中で、担い手をどのように発掘していくか。また少ない担い手で活動をしていくためには、どのようにすればよいか。といった課題は青少年指導員に限ったことでなく、様々な地域活動にも共通した課題と考えられるところでございます。こうしたことから、今回この課題について、区政会議のみなさまのご意見をうかがうことにした次第でございます。従いまして正解も不正解もございませんので、忌憚のないご意見をお聞かせいただき、また意見交換していただければと思っておるところでございます。

それではもう1度、資料⑨こちらの2ページ・3ページをご覧ください。開いていただきますと、ちょうど上下になろうかと思えます。2ページ・3ページをご覧ください。

こちらのほうに、青少年指導員とはどういった役割の方々なのか。など記載しております。かいつまんで申しあげれば、地域における青少年の健全育成や相談に関することが業務。よりよい人的・物的環境を作る推進役。小・中学校や地域活動協

議会。子ども会。PTA など関係機関地域団体と、密接な連携を取りながら活動を行う。こういったことが記載されております。

少子化によって学校の児童生徒数は減少し、これに関連して子ども会やPTA も同じような状況でございます。また、人口減少や町会加入の関係で、地域活動協議会も担い手が厳しいところがあるようにかがっており、青少年指導員が連携する相手である、関係機関・地域団体のいずれもが厳しい状況かと存じます。

次に4ページをご覧ください。具体的な活動を紹介しておるところでございます。ここに4番目に記載している、地域イベントへの協力。といったものが、先ほどご紹介した青少年指導員の役割や、本来業務といったところから少しニュアンスが異なることにお気づきいただけますでしょうか。実は3番目の「成人の日記念の集い」も、青少年指導員さんの本来業務ではございません。これは青少年指導員の皆さんが、先ほどご説明したとおり、様々な関係機関・地域団体と連携するために、協力していただいている取り組みでございます。従いまして、本来規定されている業務ではないけれども、様々な関係機関・地域団体との連携の為に、ご協力いただいている取り組みといったところを抑えておいていただければと存じます。なお、これらの「成人の日記念の集い」、地域イベントへの協力は青少年指導員だけでなく、青少年福祉委員のみなさまにもご協力いただいておりますので、補足させていただくと共に、青少年指導員・青少年福祉員のみなさまには改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

次に5ページをご覧ください。課題と現状を記載しておりますが、先ほどご説明した課題を記載しておりますので、ざっとお目通しいただければと思います。

次に6ページには、校區別・年代別の人数を記載しておりますが、右側の記載のとおり、地域ごとに充足率がばらついており、地域によっては活動が厳しいところがあることがご理解いただけるかと思えます。

次に7ページには、先ほどの地域イベント以外にも、区としての事業運営にご協力いただいているものを記載しておるところでございます。

最後に10ページをご覧ください。このあと青少年指導員活動の活性化に向けて各部会に分かれて意見交換していただくわけですが、テーマが大きいので、①担い手発掘、知ってもらう方策。②地域活動の負担軽減策。③その他どのようなことが考えられるか。と3つほど少し具体的な着眼点を記載させていただいております。この3つに限らず大所高所から様々なご意見をお聞かせいただくよう、よろしく願いいたします。それでは、3つの部会の方に分かれてご議論いただければと

思います。よろしくお願いいたします。

○五十嵐総合政策担当課長 すみません。ここで各部会の話し合いの時間の目安でございすけども、だいたい 19 時今 25 分くらいですので、45 分くらいまでの目安とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。では各課長さんに担当部会に入ってください。準備が整った部会から自由にお話し合いをお始め下さい。お願いします。

～意見交換 およそ 30 分間～

○ヴィダル議長 では、すみません。お時間予定過ぎておりますので、ここで一旦まとめさせていただきたいと思います。

では、各部会から出された意見・提案などを簡潔に発表をしていただきます。まずは、子ども青少年部会の私からさせていただきます。

こんばんは、こども青少年部会議長のヴィダルです。

こちらのほうで話し合った内容としては、まず「致命的に知名度が低い」というところで、子ども会とか PTA というのがあったり、同じようなことをやっているにも関わらず「青少年指導員連絡協議会とは何だ」という答えられる人が圧倒的に少ない。かく言う私も 1 年目の青少年指導員なんですけども、PTA の会長をやっていたわりに、青少年指導員が何か分かっていないという時期が数年ありました。入るまでもそんなに正直詳しくなかったと思います、情けない話なんですけども。なので、各地域または港区民祭りとか、あとはもう本当にイベントごとに「青少年指導員というのがあるんだよ」という周知出来るブースを作って、いきなりこう人数が爆発的に知名度が上がって増えるということはちょっと期待は出来ないんですけども、やっぱり皆さんに知っていただく。

正直ここでは話したんですけど、PTA と子ども会と青少年指導員もほとんど同じ人が、何かしらの人材の取り合いというか、皆さん兼任とか、もうどこの地域でも同じだと思うんですけど、起こっていることなので、多分、青少年指導員の違いというのは PTA と子ども会って実際自分の子どもがいるよということなんですけども、青少年指導員ではそうではないので、やっぱり絶対的に全体の知名度を上げるのが、メジャーなので一番良いかなと。

あとは最後のほうに良い案が出まして、名前が堅い。指導する、青少年を指導す

る委員、ちょっと荷が重いというのが出まして、なので、取っ付きやすいネーミングとかいうのがあれば、なお良いかなという間口ちょっと広がるかなという意見が出ました。

そんな感じです。私の部会からは以上です。ありがとうございました。

では、次に安心安全・まちづくり部会の山岸議長お願いいたします。

○山岸委員 安心安全・まちづくり部会の山岸です。

私たちも色々お話し合いした時に、申し訳ないのですが結構マイナスのことも色々出まして。すみません、こう帽子ですね、この帽子を最近ね、ちゃんとかぶっている方が少ないので、青少年指導の帽子を復活させてね、もうちょっとこう PR するような、そんな形でも良いんじゃないかなという話も出た一方で、それをかぶるのはとても責任が重いので、それはそれでやりにくいなど。あの実行委員として色々お手伝いはするんですけども、ちゃんと委嘱状をもらってするのはちょっと荷が重いなという話が出ていました。

あと、やはり先ほどおっしゃったみたいに、なかなか知名度があまり分からなくて、どんなことをされているのかというのが分かりにくいので、例えば町会長会議ですとか地域の会議の時に、色んな会議の時に人数、どなたかご紹介いただけないでしょうかということで、会議とかで PR してみるというのも良いんじゃないかなという話も出ました。

あと昔は本当にボランティアでされていたんですけども、今はプラスアルファの特典があるとうかがいまして。例えば、大阪市の施設を無料で動物園とか入ることが出来るよという、小さいかも知れませんがそういうこともちょっと PR してみるのも良いんじゃないかなという話も出ていました。

あとそれと PTA、子ども会、その流れで青少年指導員も一緒にやってくれませんか、そこから人材を引っ張って来るという方法が、やはり自然な流れかなというのと。そういう話もしました。

最後に出たのが、やはりちょっと時代に合っていないかも知れないので、これは多分青少年指導員さんだけじゃないと思うのですが、このボランティアの在り方を、やはりちょっと見直す時期に来ているのではないかなということで、最後そういう話で終わりました。以上です。

○ヴィダル議長 ありがとうございました。では、最後に福祉部会の平尾議長、お願いいたします。

○平尾委員 はい、福祉部会平尾です。

福祉部会ではですね、まずですね、かつてはですね、町会ごとに青少年指導員を選出というか推薦していたらしいんですが、現在そもそも町会側が青少年指導員の活動をよく分かっていないと、非常に認知度が低いのが問題じゃないか。

7ページの表を見てもらうとですね、単身の高齢者率がすごい高い地域がやっぱり委嘱率低いんですね。なので、地域のコミュニティと青少年指導員との接点が非常に薄いんだろうということが想像されますので、青少年指導員と地元コミュニティとのつながりが非常に大事なんじゃないかという推測がされました。

青少年指導員の方々の本来の業務以外の役割が多くて、負担が大きくなっているというところなんですけど、さきほどからPTA等々が終わってから青少年指導員になるんだよという話になっていましたけど、ということは、突然30代40代の子育て世代の人が、今からじゃあ青少年指導員やりますと言って入って来る訳じゃないと思うんですね。なので、ユースリーダーという10代からの方々を、まず掘り起こしていなかったら、今はここ10年ぐらいはしょうがないけど、そういう形でなんとか復活というか青少年指導員の方を掘り起こしていかなければしょうがないのではないかと。ただ、その中でやっぱりその町会、連合町会等々とのコミュニケーションというか、接点をたくさん作って欲しいというのと、それからやっぱりね、ユースリーダーを発掘するには、その青少年指導員の方が「あっ、お兄ちゃん、お姉ちゃん格好いいなあ」と子どもたちに思わせないといけないので、何かそういうイベントを多くして、モチベーションを、青少年指導員の方のモチベーションも高めるというのが必要じゃないかなという意見が出ました。

こんなものですかね、はい、ありがとうございます。

○ヴィダル議長 ありがとうございます。本日、せっかくオブザーバーで来ていただいていますので、実際の青少年指導員の荒川会長からもご意見をお願いいたします。

○岡田オブザーバー すみません、本来なら会長が挨拶しないとだめなんですけど、副会長の岡田です。

今日は、僕らの活性化のために議論していただき、ありがとうございます。

いま、色んな意見を集約して、さっきも出ていたネーミングだとかは、港区だけではできないので、市に、あれは市なので、帽子もなんですけれど。ただやっぱり普段の25日の夜回りだとか、ああいうのは仕事の都合上で確かにちゃんと帽子を被って、町会から預かったユニフォームだとか、青少年指導員のユニフォームを着て、回るのが普通なんですけども。やっぱりちょっと時間等々で、回るのが精一杯

などところがあるので、徐々にそこは改善していきたいなとは思っています。

もうちょっと僕らがモデルというか、光るものを出せばね、また人も集められるように努力していきたいと思えます。本日はすみません。ありがとうございました。

○ヴィダル議長 副会長ありがとうございました。ほかの部会からのご意見に対して何かご質問等ございませんでしょうか。特にはないようですので、逆に各部会からのご意見・ご提案などに区役所からご意見があればどうぞ。

○山口区長 すいません。じゃあ私のほうから一言だけ。

各テーブルでしっかり議論していただいてありがとうございます。確かに時代が変わったというか、私も地元でPTAの会長をやっているから当然「次、青少年指導員だよ」という。ただ「今、区長やっているから見逃したるわ」みたいな感じで言われてはいるんですけども。やはり地域活動を支えているというか、荒れていた時代が長かった地域だったので、そういう意味でしっかり守らないとあかん。というところで夜回りだとか、そういったところの活動を、いろいろやられているんですけどやはり人数が不足していて、これは各地域で、PTAがしっかりしているところ。こども会がすごくしっかりしているところ、どこもしっかりしている青少年指導員さんも、みんなそれぞれの活動が強いところ、または3つ一緒になってやっとな、こども向けの色々なことができていく地域と、やっぱりこう地域性もあるなと思っています。生野も港区も見てきたなかで思っていますので、やはり各地域事情に合わせながらやることですね。

生野区であったんですけど、ある単独の地域でやるイベントを2、3個の周りの、青少年指導員の人たちが助けに行くというか一緒にやって、そのあと飲むのが楽しいんだと思うんですけど。楽しそうにしているのはよく見かけたりもしたので、全部でやるとか、1個だけでやるというのにこだわらず、ちょっと枠組みを変えながらやるのも良いんじゃないかな。というふうにお話し聞きながら思いました。

あとネーミングは確かに、なかなか簡単に変えられませんので、市のほうにもね、なんか言う機会があれば言いつつも、愛称を付ける。とかいうのも募集してつけたりするの素敵かな。というふうに思うのと、このあたりで話しに出たんですけども、ボランティアしたい若い人って居るんですよ。だからこれがカッコいいボランティアだよ。というか、簡単にというのも変だな。やっぱり委嘱だから重たいんだけど、まちとか、こどもとか、若者に関わりたかったらこの窓口がありますよ。というのが、それぞれの団体でも困っていらっしやるかもしれないので、なんかこう、やりたい人がパッと見て「こんなにいろいろあるんだ」「ここが窓口なんだ」

「こんな活動なんだ」というのが分かるようにするのも1つの方法かな。というふうにも思いました。今日は本当に色んなご意見ありがとうございました。

○ヴィダル議長 ありがとうございました。お時間にもなりましたので、本日は市会議員の先生にも出席していただいておりますので、一言お願いできればと思います。

○藤田議員 ありがとうございます。そんな先生とかそんなんじゃなくて、僕も港区で育ちましたので、青少年指導員の皆さんにお世話になって育った1人なんですけども、議会でも本当にこの件何回か議題に上がっています。いつも出る意見としては、皆さん今日議論されていたように、今の時代に果たす青少年指導員の役割ってなんなのかという。これはもう青少年指導員だけじゃないですけどね。大阪市として業務として委託すべきものなのか、地域活動として任意でやってもらうものなのかというところを、どうやって棲み分けるんだ。というのが常に難しい問題としてあります。

やっぱり組織の中でも、僕らも港区以外の青少年指導員の方とかとも色々意見交換しますけど、組織の中でも「もっとやっていきたい」という人と「もうやめてしまえばいいじゃないか」という人が結構いて、なかなか難しい問題だなというふうには。組織の中でも一枚岩じゃないし、これはこども会とかPTAとかでも「もうPTAなくしたらいいじゃないか」という人もいれば「PTAもっとやっていかなければならない」という人もいるので、すごく方向性として「こっちだ」と舵取りがしにくい問題だなというふうに思っていて。今日は本当に、ひたすら勉強させていただいた1時間かなというふうには、皆さんの意見聞かせていただきました。まだこれ結論は出ないんですけど、考え続けていって、ちょっとでも良いようになるように、必要があれば僕らも議会でしっかり話していきますので、こういう場、設けていただいてありがとうございました。またあの荒川さん、岡田さん、また色々教えてください。ありがとうございました。

以上です、ありがとうございました。

○ヴィダル議長 藤田議員、ありがとうございました。これで本日のスケジュールは全て終了いたしました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。では、区役所へお返しいたします。

○前田総合政策担当課長代理 ヴィダル議長、議事進行ありがとうございました。区政会議委員のみなさま、青少年指導員の皆様、市会議員の藤田先生どうもありがとうございました。

限られた時間でしたので、本日も充分にご発言いただけなかった区政会議の委員の方もいらっしゃるかと思います。本日配布しております、資料⑨が「ご意見シート」ですので、またお気づきの点ですね、もしくは本日発表を聞かれて、気になる点ございましたらぜひ区役所のほうにお声を寄せていただければと思います。こちらのほう、締め切りは3月末とさせていただきます。紙で提出いただいても、メールやFAXでも、送信いただいても結構ですので、どうぞよろしくお願いいたします。お寄せいただきましたご意見につきましては、また来年度の区政会議は6月頃開催の予定なのですが、そちらのほうで回答させていただく予定にしております。それでは最後に副区長の磯村より、閉会の挨拶をさせていただきます。

○磯村副区長 副区長の磯村です。先日の部会に引き続き本日も熱いご議論ありがとうございました。本当に今日のテーマはですね、テーマを投げかけさせていただいて、どんな話しになるかな。もう青少年指導員以外の話しもどんどん膨らんでいくのかな。と思いましたが、やっぱり今日は「青少年指導員活動の活性化に向けて」のこと、皆さんで一所懸命考えていただいて、色んなアイデアも聞かせていただいて、本当にありがたいなと思っています。今日の話でもありましたように、日本全体人口が少なくなって、担い手が少ないというのは日本全国どこでも問題で、そういう時代やな。ということになってくるんですけど。やっぱり区役所としては、時代のせいだけにするわけにもいかず、やっぱり我々は、港区が賑やかで活気のあるまち。子ども達が安心して育っていけるまち。「住んでいて楽しいな」と思っているまちにしていくことが区役所の仕事でもありますのでね。やっぱりこうやって、皆さんの意見を聞きながらできることは取り入れて、変えていくところは変えていって、そういうふうには仕事をしていきたいと思っています。

青少年指導員も含めて、周知が足りないということもよく言われます。それはもちろんそうだと思うんですけど、今日ここに来ていただいた皆さんは、そもそも区政会議の委員さんということなので、意識の高い方ばかりなんですけど、青少年指導員のことについて今日分かったことも、ちょっと持ち帰っていただいて、例えばご家族でお話ししてもらおうとか、お友達と話ししてもらおうとか、ご近所でワイワイやってもらおうとか、そういう中で何か、ほかの方の意見があれば、さっきのご意見シートでも結構ですし、いつでも区役所のほうに伝えていただいたら、我々もまちを良くするための力になると思いますので引き続きご協力をよろしくお願いしたいと思います。

来月は万博です。チケットを買っていただいて。春が近づいてきますけどもまだ

まだ寒い日も続きますので、皆様自身が健康でいきいきと過ごしていただくことが、港区のためになっていきますので、引き続きお身体にはお気をつけていただいて、引き続き区政を応援していただければと思います。

本日はありがとうございました。

○前田総合政策担当課長代理 それではこれもちまして、本日の会議を終了いたします。みなさまでどうもありがとうございました。